

➤ PLATANE

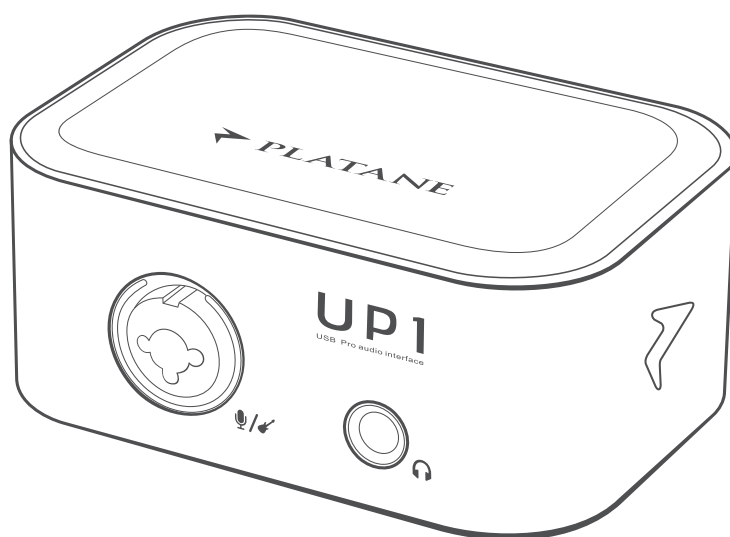
# UPI

USB PRO AUDIO INTERFACE

## 3in/4out USB audio interface

### 取扱説明書

Ver. 1.0



Professional  
Audio



Transient  
Response



Sound  
Balanced



High SNR  
High Dynamics



Hi-Quality  
Audio

---

## 株式会社サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL: 0476-89-1111 FAX: 0476-89-2222

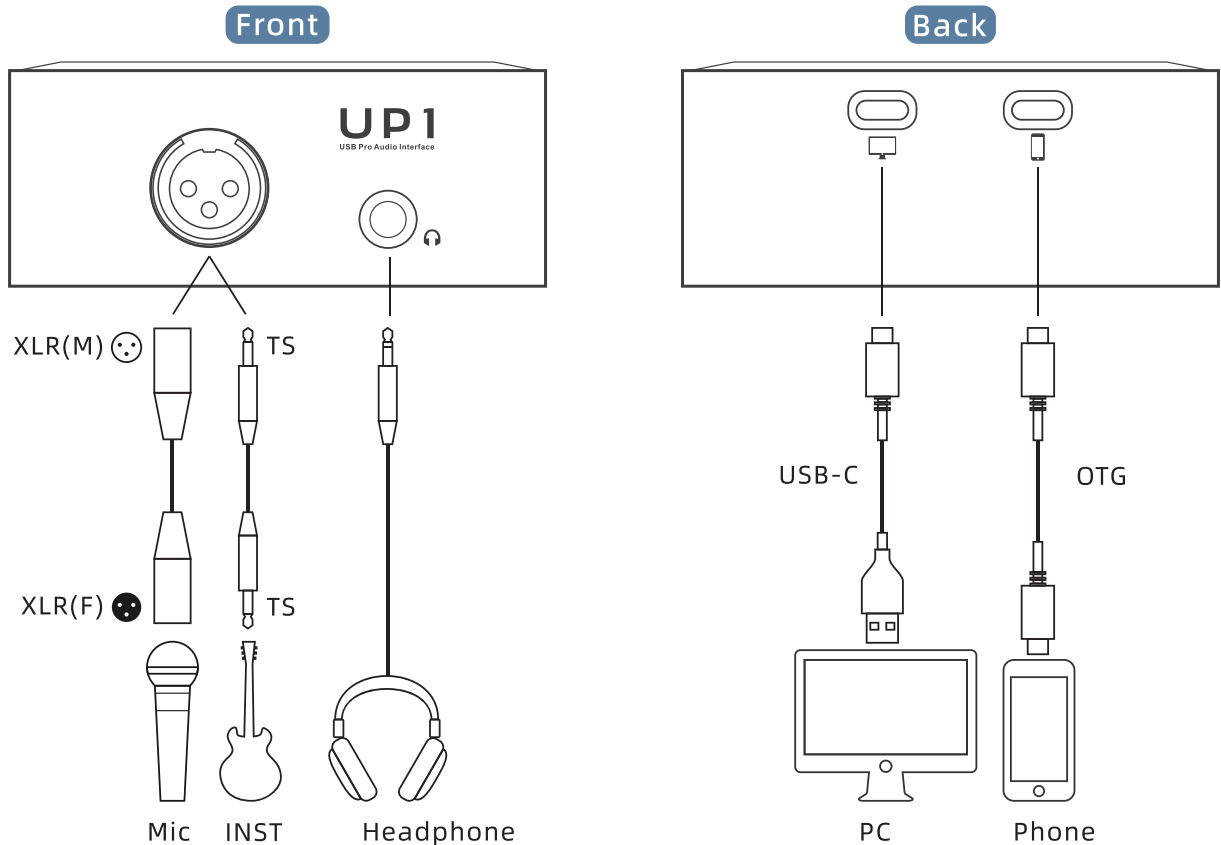
<https://www.soundhouse.co.jp> E-mail: [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

この度は、Platane UP1をご購入いただき、誠にありがとうございます。UP1は、スマホ/PCを用いた録音・配信・モニタリングに対応するポータブルなプロ仕様のオーディオインターフェイスです。本製品の性能を最大限に発揮させ、未永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

## 接続

この度は、Platane UP1をご購入いただき、誠にありがとうございます。UP1は、スマホ/PCを用いた録音・配信・モニタリングに対応するポータブルなプロ仕様のオーディオインターフェイスです。本製品の性能を最大限に発揮させ、未永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。



### 前面パネル

#### ・入力(コンボジャック)

マイク入力(XLR)の場合は、XLR(オス)側を本製品に接続します。  
ギターやベースなどの楽器は、TSフォンケーブルを本製品に接続します。

#### ・ヘッドホン出力

ヘッドホンは、本製品のヘッドホン端子(TRSフォン端子)に接続します。

### 背面

#### ・USB-C(PC接続)

USB-C端子はPCに接続します。USBケーブルで本製品とPCをつなぎ、録音/再生に使用します。

#### ・OTG(スマートフォン接続)

OTG端子はスマートフォンに接続します。対応するOTGケーブル/変換アダプターを使用して、本製品とスマートフォンをつなぎます。

### ヒント

付属のケーブルを使用し、PCのUSBポートに直接接続してください。USBハブを使用すると電力不足や認識不良が発生する場合があります。

## [USBオーディオインターフェイスドライバー] のインストール

①公式サイト:<https://www.platane.com.cn> のDownloadページに入ります。



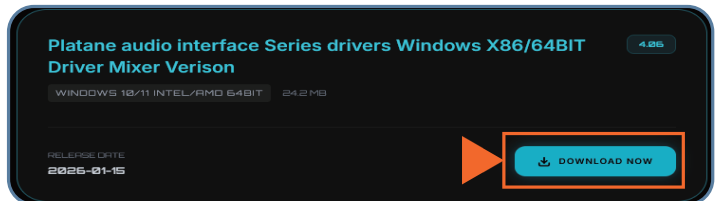
②[UPシリーズ USBオーディオインターフェイスドライバー]から、お使いのPCのシステムに合ったドライバーを選択してダウンロードしてください。

UPシリーズは現在、Mixer と Lite の2種類を提供しています。

※お使いのOSによっていずれかのバージョンのみの提供である場合があります。詳細はメーカーサイトをご確認ください。

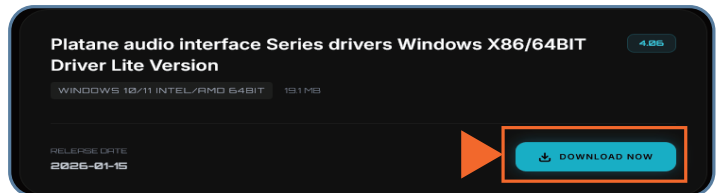
### Mixer

経験豊富なユーザー向けのフル機能カスタム信号ルーティングインターフェイスです。



### Lite

初心者向けに設計された、使いやすい基本インターフェイスです。



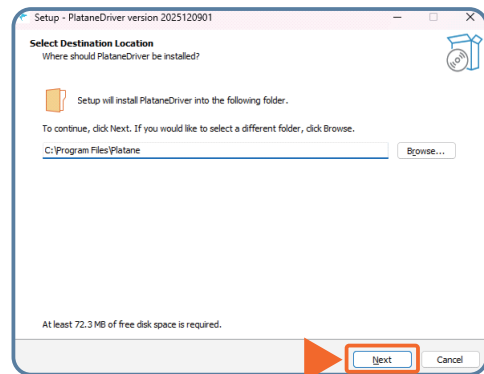
③セットアップ例 - PlataneDriver バージョン 2025120901

#### インストール先の選択

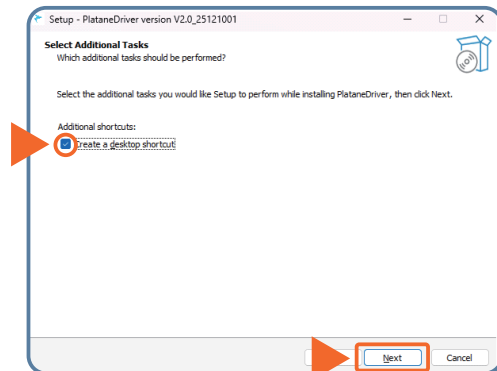
PlataneDriver をインストールする場所を選択してください。

※C:\Program Files\Platane へのインストールを推奨します。別のフォルダーを選択する場合は[Browse]をクリックしてください。

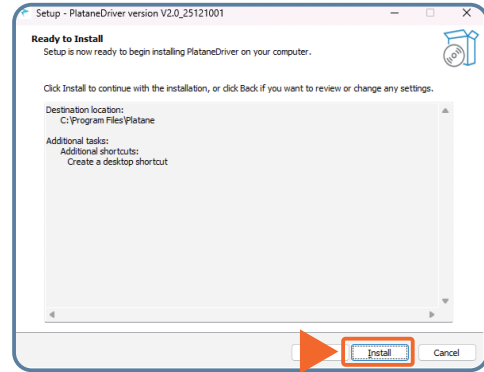
※例に挙げたドライバーの場合、72.3MBの空きディスクが必要です。インストール時に空き容量をよくご確認ください。



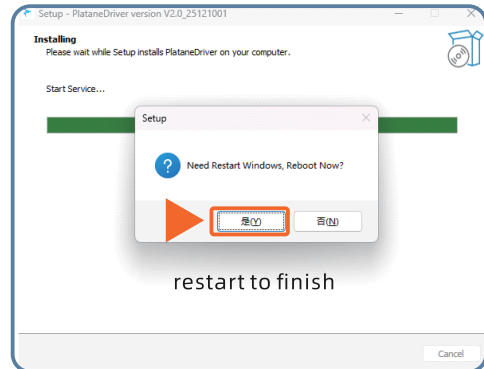
デスクトップにショートカットを作成する場合は、チェックボックスを選択し進みます。



インストールを続行するには[Install]をクリックしてください。  
設定を確認または変更する場合は[Back]をクリックしてください。



インストールが完了したらPCを再起動してください。

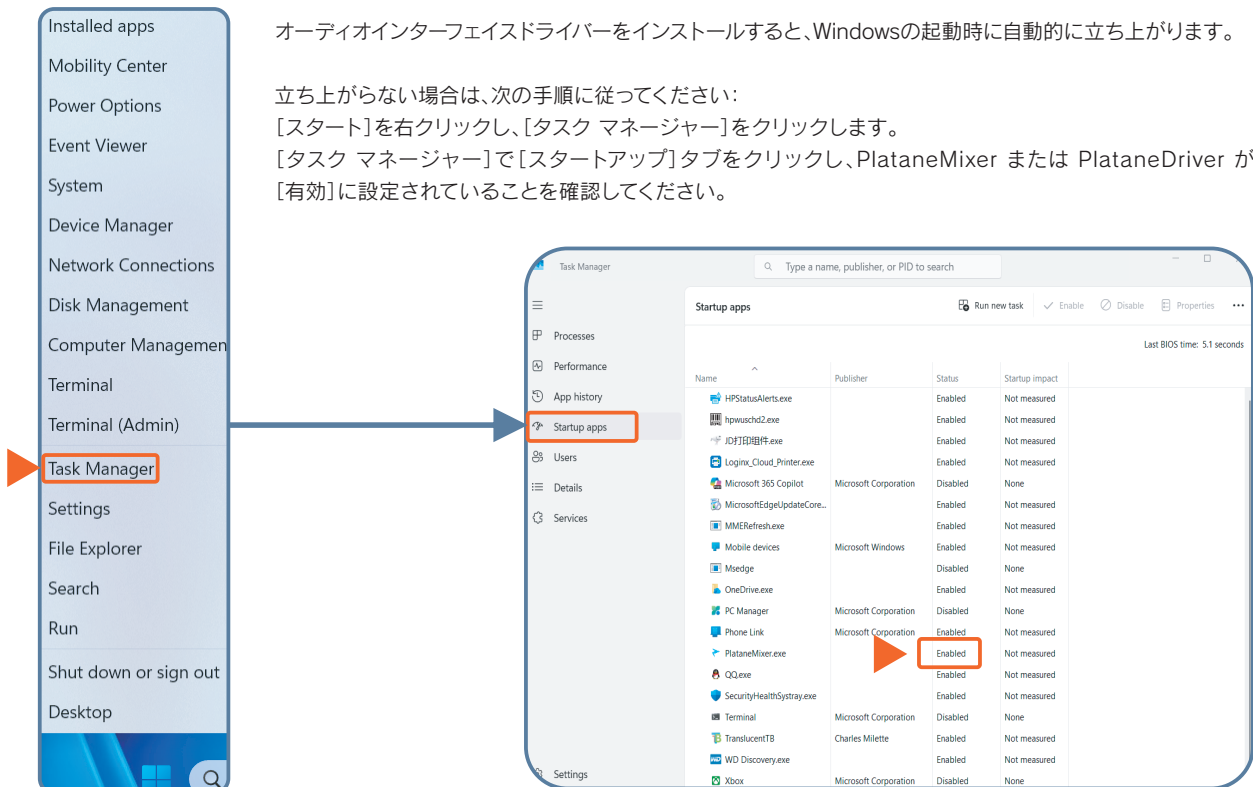


オーディオインターフェイスドライバーをインストールすると、Windowsの起動時に自動的に立ち上がります。

立ち上がらない場合は、次の手順に従ってください：

[スタート]を右クリックし、[タスク マネージャー]をクリックします。

[タスク マネージャー]で[スタートアップ]タブをクリックし、PlataneMixer または PlataneDriver が [有効]に設定されていることを確認してください。



#### ヒント

ドライバーが自動的に起動しない場合のみ、この手順に従ってください。  
自動的に起動した場合、この手順はスキップしてください。

# LITE VERSION

## ソフトウェアインターフェイス (LITEバージョン)

① [PlataneDriver] アイコンをダブルクリックします。



② デスクトップ右下の Platane アイコンを左クリックして、メインウィンドウを開きます。

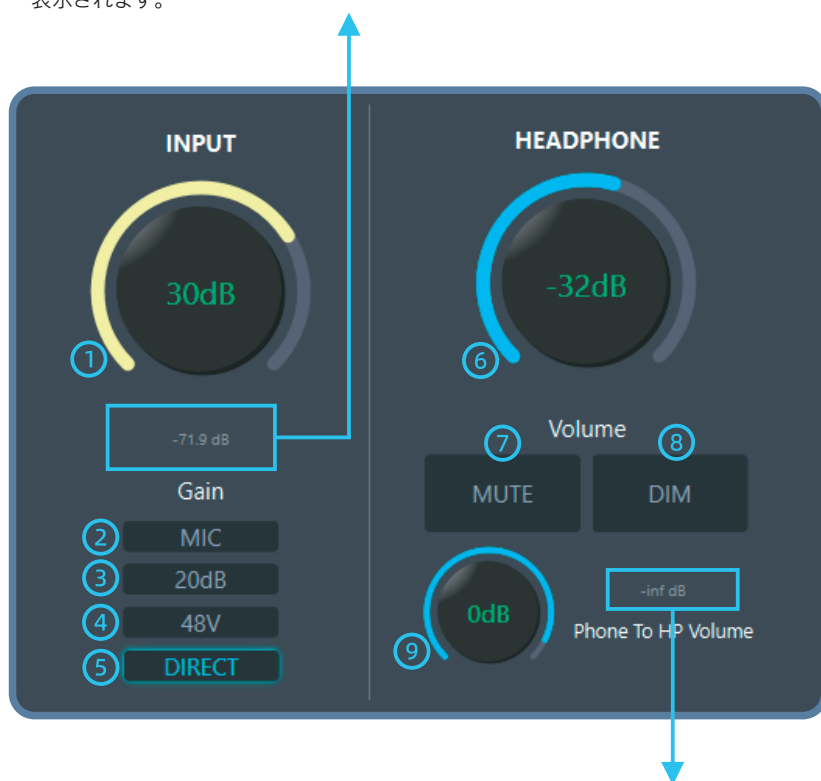
### ヒント

インストール時にデスクトップショートカットが作成しなかった場合は、[スタート]をクリックして「planedriver」を検索してください。



### 仮想マイク入力ノイズ表示

通常、入力ゲインを0 dBに設定すると、レベルはおよそ-100 dB付近に表示されます。



### OTG input display

スマートフォンのOTGポート経由でオーディオインターフェイスに入力される信号レベルをリアルタイムで表示します。

#### ①INPUT/GAIN

マイク入力または楽器入力のゲインを調整します。左ボタンを押したまま入力ノブ付近をドラッグするか、入力ノブ上にカーソルを合わせ、マウスホイールでゲインを変更します。

#### ②MIC

マイク入力と楽器入力を切り替えます。初期設定は[MIC]です。左クリックして[INST]に切り替えます。

#### ③20dB

入力ゲインを20 dB追加します。入力信号が弱い場合(例:ダイナミックマイク使用時)は、必要に応じて[20dB]をオンにします。

#### ④48V

コンデンサーマイク用の48 Vファンタム電源です。なお、[48V]を操作すると、自動的に出力が4秒間ミュートされ、ポップノイズを防ぎます。

#### ⑤MONITOR

ヘッドホンでマイク/楽器のダイレクトモニター(DIRECT)を有効にします。

#### ⑥HEADPHONE/VOLUME

ヘッドホンの音量ノブ付近で左ボタンを押したままドラッグして音量を調整するか、ノブ上にカーソルを合わせ、マウスホイールで音量を変更します。

#### ⑦MUTE

オンにするとヘッドホン出力をミュートします。

#### ⑧DIM

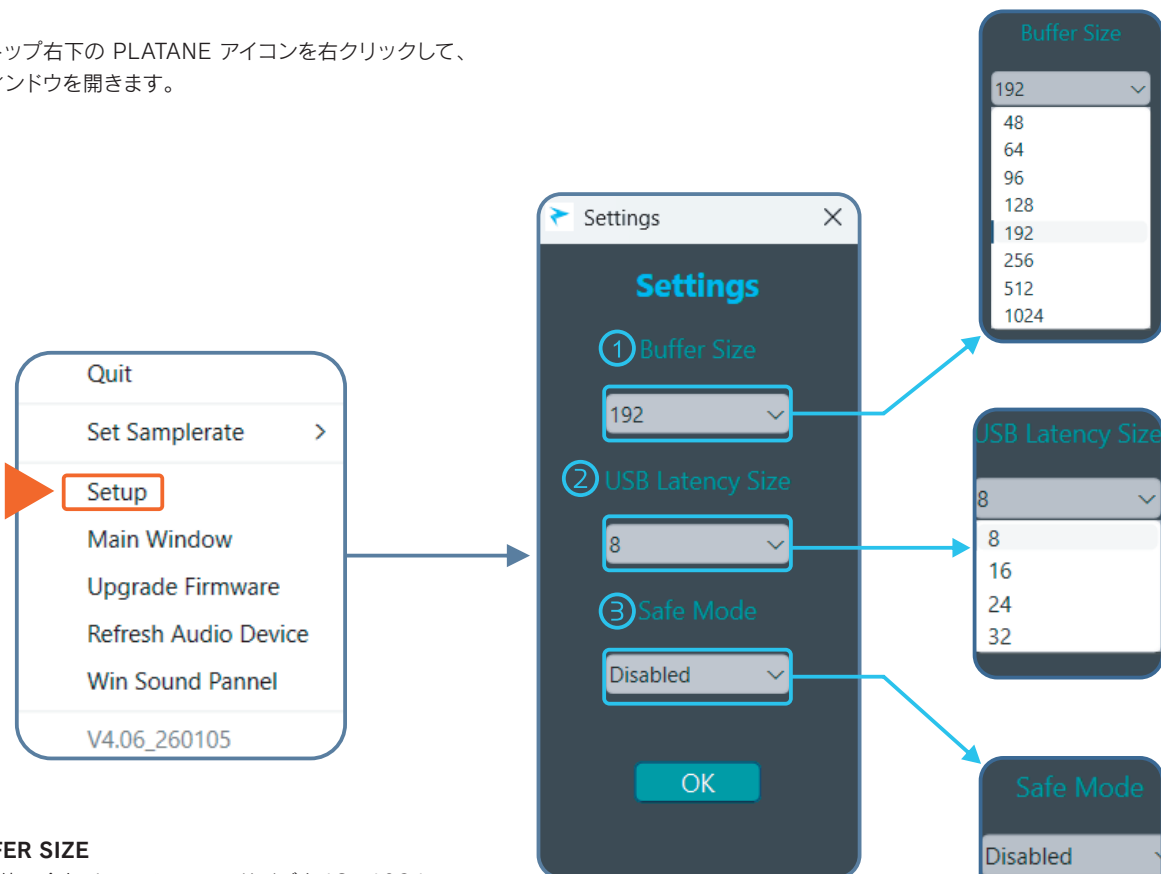
オンにするとヘッドホン音量を20 dB減衰します。

#### ⑨OTG VOLUME

OTG音量ノブ付近で左ボタンを押したままドラッグしてスマートフォンのOTG音量を調整するか、ノブ上にカーソルを合わせ、マウスホイールでOTG音量を変更します。

## パラメーター設定 (LITEバージョン)

デスクトップ右下の PLATANE アイコンを右クリックして、設定ウィンドウを開きます。



### ①BUFFER SIZE

PCの性能に合わせて、バッファサイズを48～1024の範囲で調整します。値が小さいほどレイテンシーは減り、値が大きいくほど増えます。DAWを使用する場合は、DAW側でバッファサイズを設定し、本製品はその設定に従います。

### ②USB LATENCY

PCのUSB性能に合わせて、USBレイテンシーを選択します (選択:8/16/24/32)。音声正常に再生されるように調整してください。通常は初期設定で問題ありません。

### ③SAVE MODE

Enabled はシステムによる自動調整を優先します。Disabled はUSB固有性能を優先します。音声正常に再生されるように調整してください。

#### ヒント

Driver V2.0をインストールすると、サンプルレートはソフトウェアのサンプルレートに自動的に同期します。

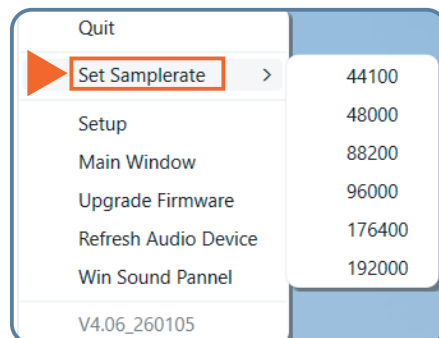
## サンプルレート (LITEバージョン)

デスクトップ右下の PLATANE アイコンを右クリックしてメニューを開きます。[Set Samplerate]にカーソルを合わせると、選択できるサンプルレートが表示されます。

必要に応じて、44,100 Hz～192,000 Hzの範囲でサンプルレートを選択してください。

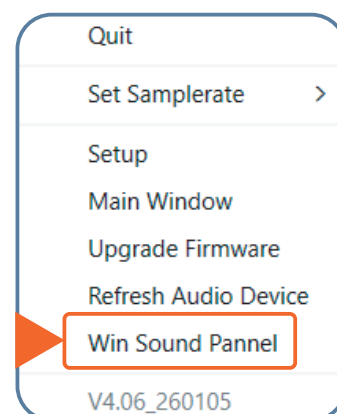
#### ヒント

Driver V2.0では、サンプルレートとバッファサイズがDAWまたはプラグインソフトウェアに自動的に同期するため、通常は手動で調整する必要はありません。



## WIN サウンド (LITEバージョン)

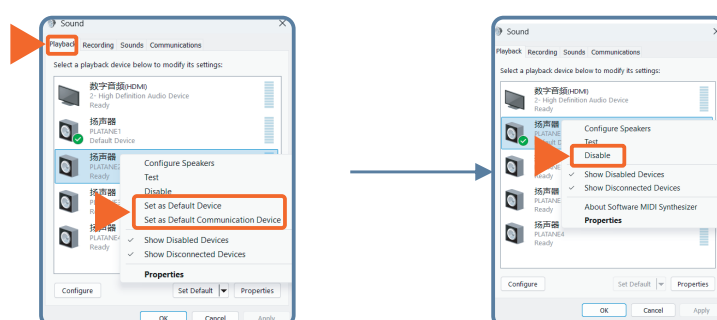
デスクトップ右下の PLATANE アイコンを右クリックし、メニューから「Win Sound Panel」を選択してください。



「再生」タブで「スピーカー (PLATANE 1)」を右クリックし、「既定のデバイスとして設定」と「既定の通信デバイスとして設定」を選択してください。システム音声の出力は、スピーカー／ヘッドホンからこの出力になります。

ライブ配信、内部録音、カラオケに使用しない場合、干渉を避けるため、「スピーカー (PLATANE 2/3/4)」は無効にするのを推奨します。

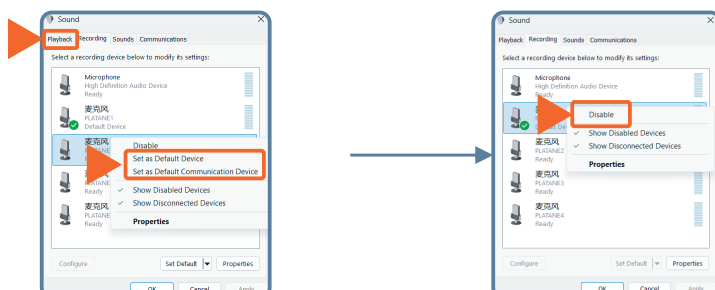
各チャンネルを右クリックし、「無効にする」を選択してください。



「録音」タブで「マイク (PLATANE 1)」を右クリックし、「既定のデバイスとして設定」と「既定の通信デバイスとして設定」を選択してください。

システムのマイク入力、この入力が既定になります。ライブ配信、内部録音、カラオケに使用しない場合干渉を避けるため、「マイク (PLATANE 2/3/4)」は無効にするのを推奨します。

各チャンネルを右クリックし、「無効にする」を選択してください。

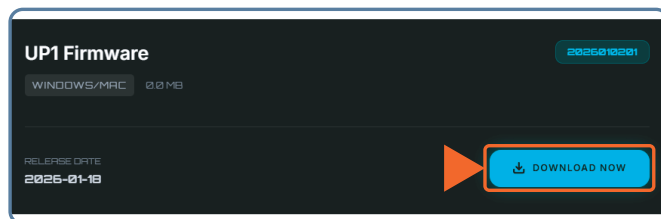


### ヒント

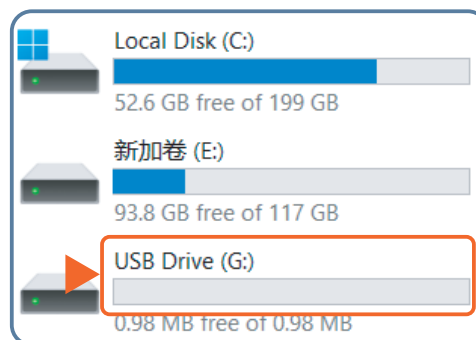
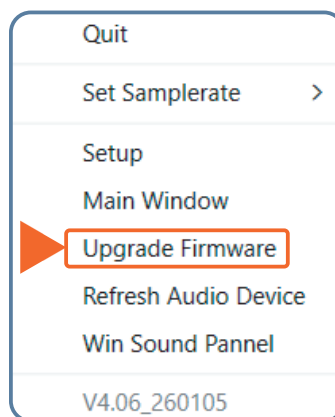
この設定は、内部録音や仮想ルーティングが不要な方向けです。  
使わないチャンネルを無効にすると操作がシンプルになります。

## ファームウェア更新 (LITEバージョン)

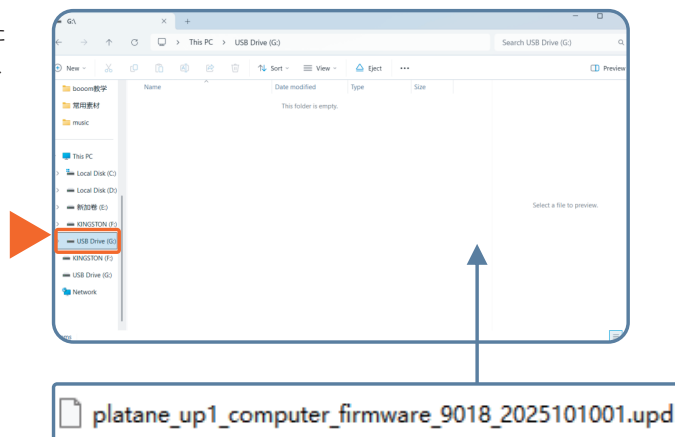
公式サイト:<https://www.platane.com.cn/#/downloads>から更新するファームウェア [UP1 firmware] をダウンロードします



デスクトップ右下の PLATANE アイコンを右クリックし、[Update Firmware] を選択します。本製品 (UP1) が更新モードに切り替わり、「PC」に本製品が新しいUSBドライブとして表示されます。ダブルクリックして開きます。

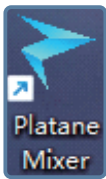


ファームウェア更新ファイルを、そのUSBドライブと認識されたフォルダにコピーするだけで更新が開始されます。更新後、オーディオインターフェイスは通常モードに戻ります。

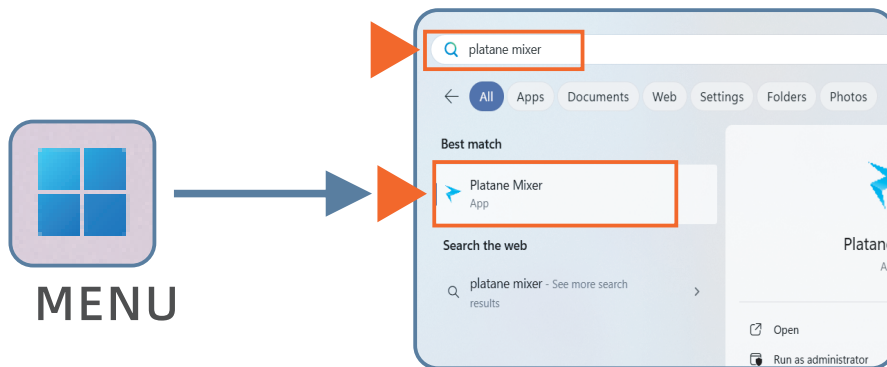


# MIXER VERSION

## ソフトウェアインターフェイス (ミキサーバージョン)



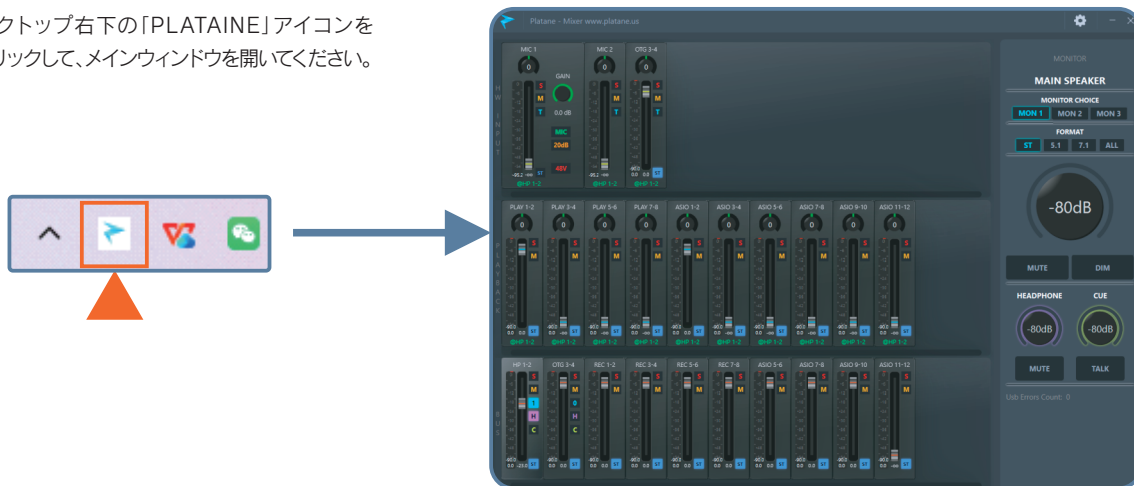
デスクトップ上の「Platane Mixer」アイコンを、マウスの左ボタンでダブルクリックしてください。



### ヒント

インストール中にデスクトップショートカットが作成されなかった場合は、スタートを左クリックして「Platane Mixer」を検索してください。

デスクトップ右下の「PLATAINE」アイコンを左クリックして、メインウィンドウを開いてください。





### ①ハードウェア入力

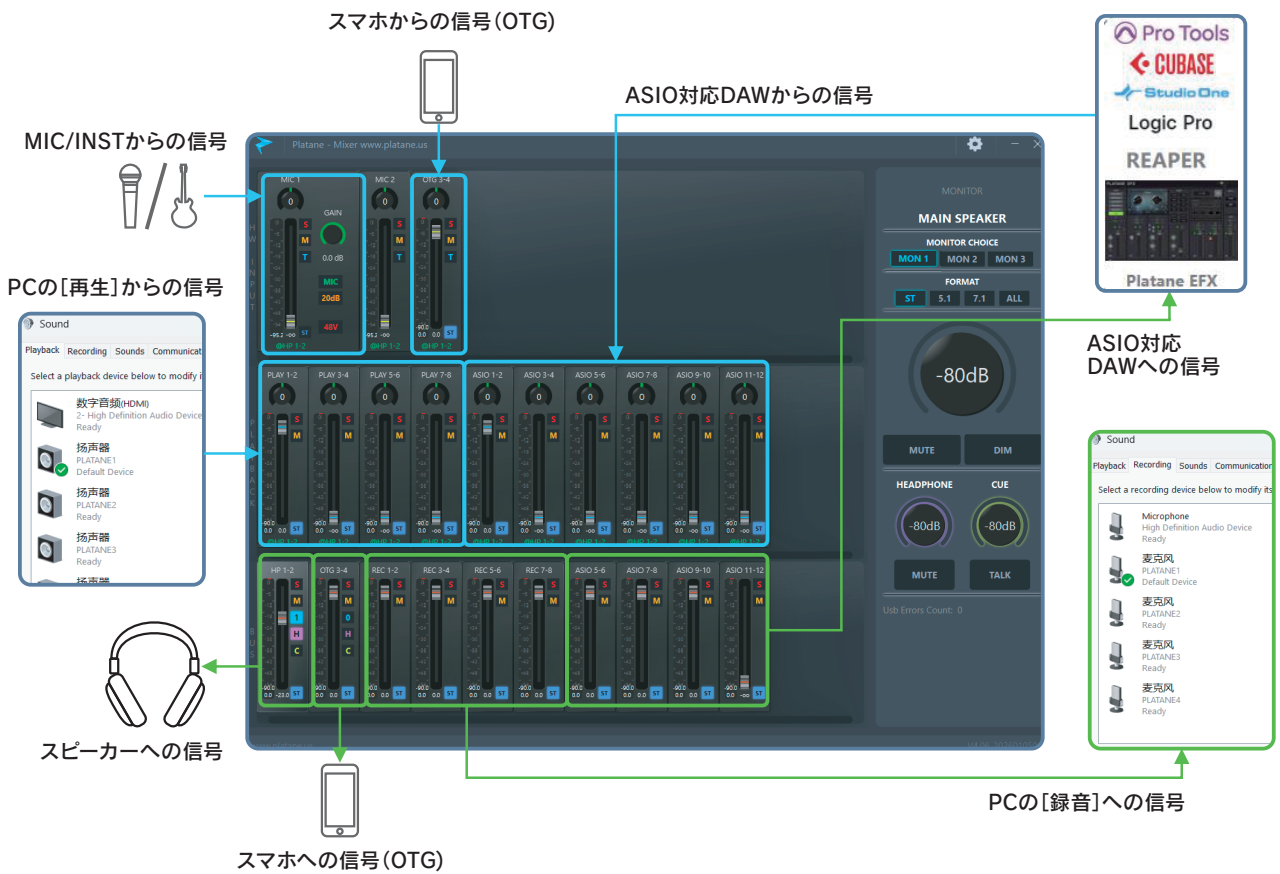
マイク/楽器の入力、およびスマートフォンのOTGオーディオ信号の入力です。

### ②再生

Windowsシステム、およびDAWまたはプレーヤーからのオーディオ信号の入力です。

### ③バス

①ハードウェア入力と②再生の出力信号です。

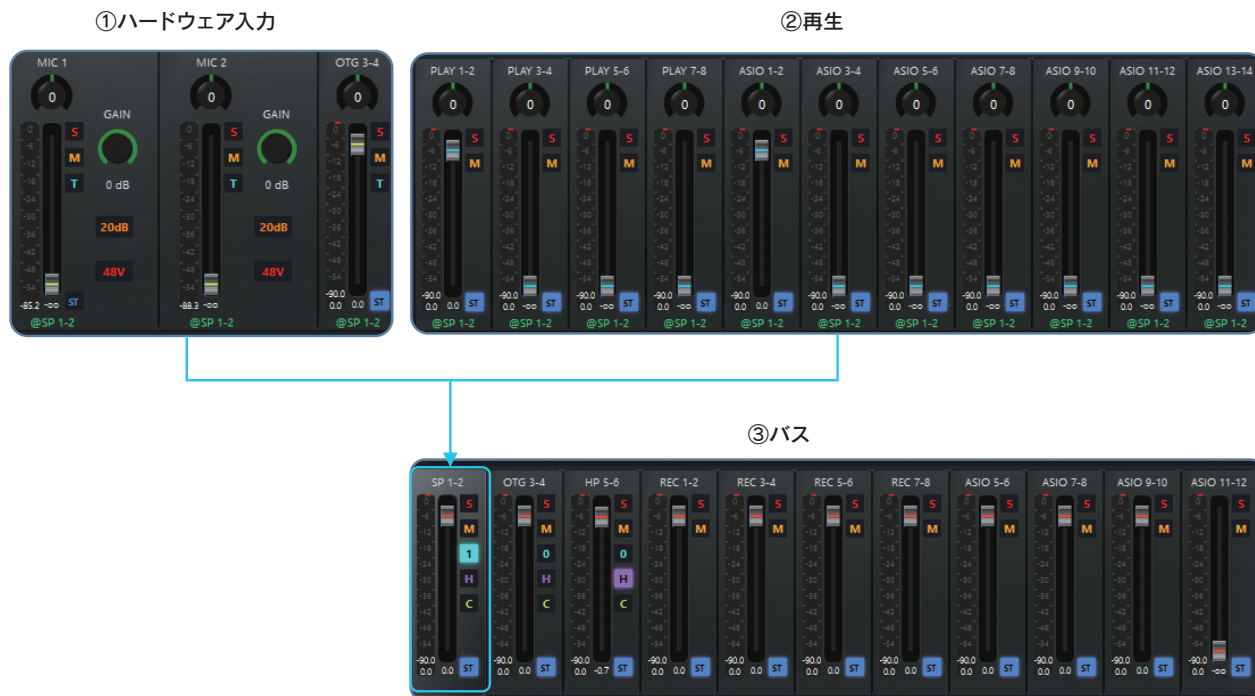


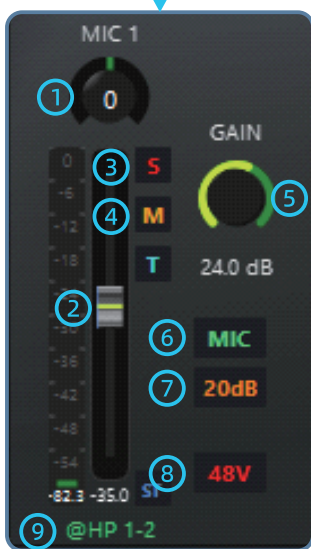
③ バスでチャンネルを選択すると (図は HP1-2 を表示しています)、選択したチャンネルがハイライト表示されます。

① ハードウェア入力と② 再生のすべての設定は、直前の操作に従います。

選択した出力 (例:HP1-2) は、① と② の各チャンネルの下に表示されます。

すべての入力信号と設定は、現在選択している (ハイライト表示された) 出力チャンネルヘルペーティングされます。





### ①パン

マイク、楽器、または OTG 信号のパン位置を調整します。  
-90(フル左) ~ 90(フル右)で、0 が中央です。

### ②フェーダー

選択したバスチャンネルへ送るマイク/楽器/OTG 信号のレベルを調整します。フェーダーの左側に、プリフェーダーレベルメーターをリアルタイムで表示します

### ③ソロ

マイク/楽器/OTG チャンネルをソロにします。複数のチャンネルを同時にソロにできます。

### ④ミュート

マイク/楽器/OTG チャンネルをミュートにします。複数のチャンネルを同時にミュートにできます。

### ⑤ゲイン

入力ノブ内で左クリックしたままドラッグして、マイク/楽器の入力ゲインを調整します。カーソルをノブに合わせて、マウスホイールでもゲインを変更できます。

### ⑥MIC(入力切替)

マイク入力ソースと楽器入力ソースを切り替えます。初期設定は MIC です。INST に切り替える場合は左クリックしてください。

### ⑦20 dB

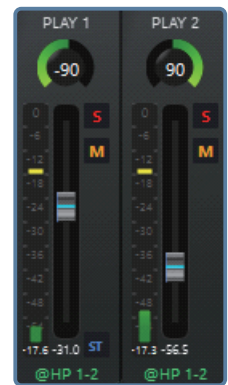
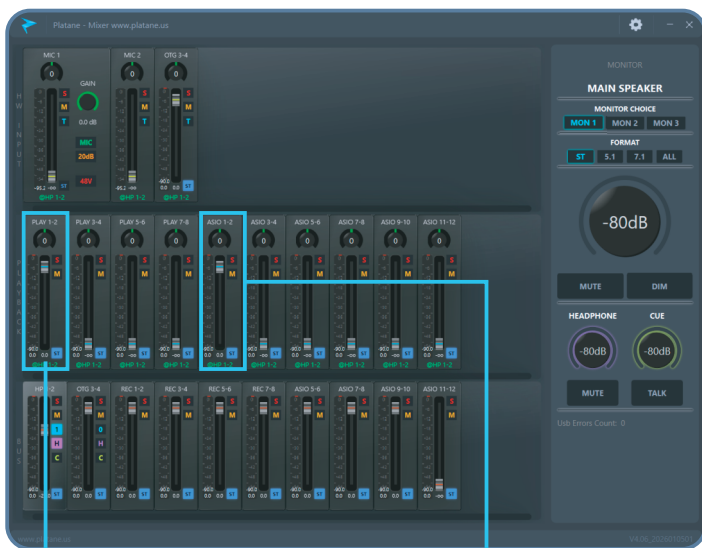
入力ゲインに 20 dB を加算します。入力信号が弱い場合(例: ダイナミックマイクを使用する場合)は、必要に応じて 20 dB をオンにしてください。

### ⑧48V

コンデンサーマイク用の 48V ファンタム電源です。48V ボタンをオン/オフに切り替えると、ポップノイズを防ぐために出力が約 4 秒間自動的にミュートされます。

### ⑨現在の出力チャンネル

ミックスのバス出力レイヤーでチャンネルを選択すると、ハイライト表示されます。すべての設定は、選択した(ハイライト表示された)出力チャンネルに適用されます。



### ①パンノブ

システム/ASIOオーディオのパン位置を-90(最も左)～90(最も右)の範囲で調整します。0が中央です。

### ②フェーダー

選択したバス出力チャンネルへ送るシステム/ASIOオーディオのレベルを調整します。フェーダー左側に、リアルタイムのプリフェーダーレベルメーターが表示されます。

### ③ソロ

マイク/楽器/OTGチャンネルをソロ再生します。複数チャンネルを同時にソロにできます。

### ④ミュート

マイク/楽器/OTGチャンネルをミュートします。複数チャンネルを同時にミュートにできます。

### ⑤ステレオ

左右チャンネルをリンクし、1本のフェーダーでまとめて操作します。リンクを解除すると(図のように)、左右が独立したチャンネルに分かれ、フェーダー/ソロ/ミュートを個別に操作できます。

### ⑥現在の出力チャンネル

ミックスバス出力レイヤーでチャンネルを選ぶと、選択中のチャンネルがハイライト表示されます。ハードウェア入力レイヤーおよびシステム/ソフトウェア入力レイヤーの各設定は、選択した(ハイライト表示された)出力チャンネルに適用されます。



#### ④1 (マスターモニターグループ)

マスターモニターグループの操作を有効/無効にします。ハイライト表示された「1」チャンネルは、すべてマスターモニターノブで操作します。ノブの範囲をマウス左ボタンで押したままドラッグして音量を調整するか、ノブ上にカーソルを置いてマウスホイールで調整してください。ミュートボタンはマスターモニター出力を無音にします。Dimボタンは音量を-20 dB下げます。



#### ①フェーダー

ヘッドホン、OTG、またはPCのシステム入力へ送る出力チャンネルレベルを調整します。フェーダー左側に、リアルタイムのプリフェーダーレベルメーターが表示されます。

#### ②ソロ

出力チャンネル信号をソロ再生します。

#### ③ミュート

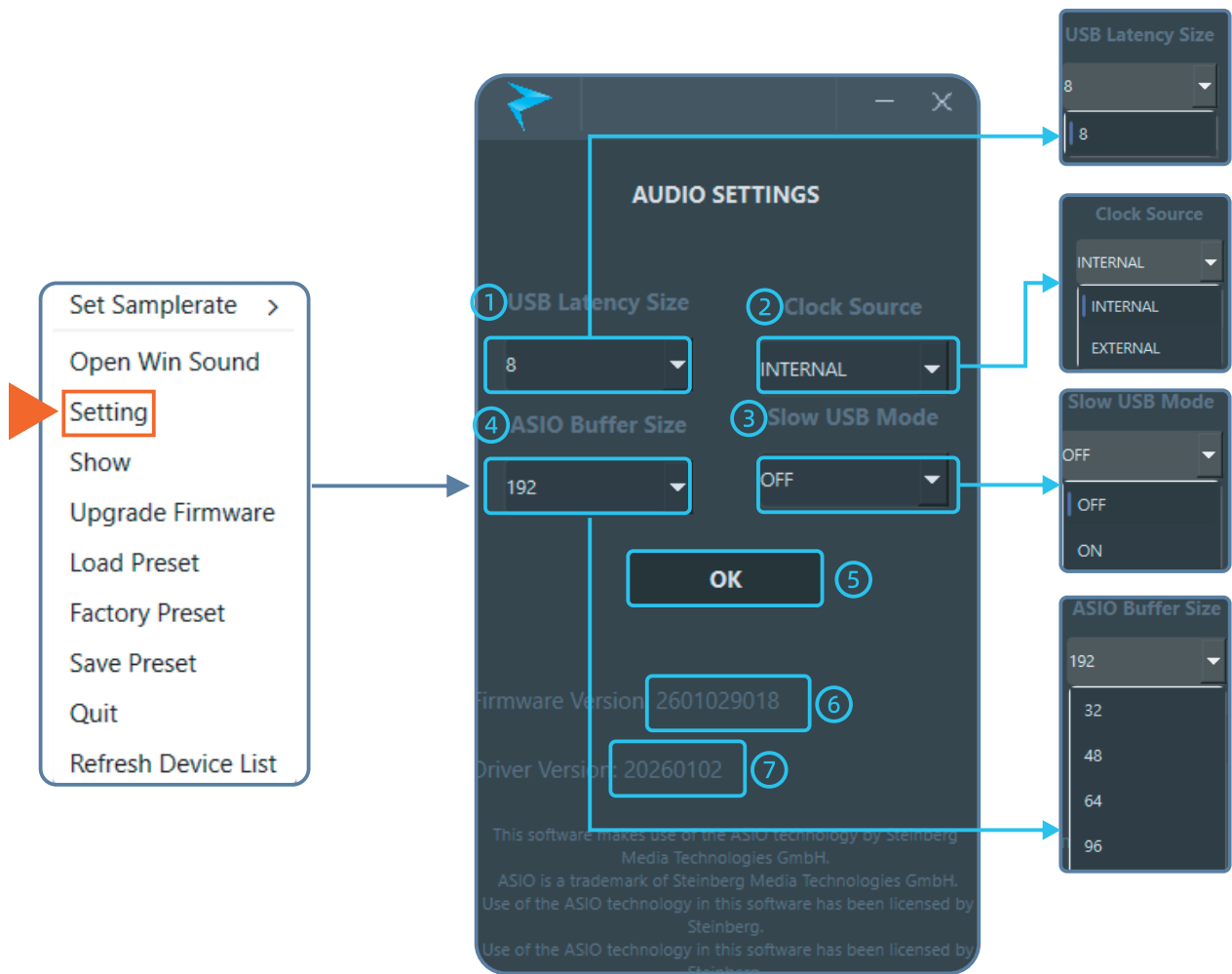
出力チャンネル信号をミュートします。複数チャンネルを同時にミュートにできます。

#### ⑤H(ヘッドホンモニターグループ)

ヘッドホンモニターグループの操作を有効/無効にします。ハイライト表示された「H」チャンネルは、すべてヘッドホンモニターノブで操作します。ノブの範囲をマウス左ボタンで押したままドラッグして音量を調整するか、ノブ上にカーソルを置いてマウスホイールで調整してください。ミュートボタンはヘッドホン出力を無音にします。

#### ⑥ステレオ

左右チャンネルをリンクし、1本のフェーダーでまとめて操作します。リンクを解除すると(図のように)、左右が独立した左右チャンネルに分かれ、フェーダー/ソロ/ミュートを個別に操作できます。



デスクトップ右下のPLATANEアイコンを右クリックし、設定ウィンドウを開きます。

#### ①USBレイテンシー

お使いのPCのUSB性能に合わせて、USBレイテンシー(8/16/24/32)を選択します。音声 normally 再生されるように調整してください。通常はデフォルト設定で問題ありません。

#### ②クロックソース

クロックソースを選択します。デフォルトのINTERNALはオーディオインターフェイス内蔵クロックを使用します。EXTERNALは外部クロックを使用します。UPシリーズのインターフェイスはINTERNALのみ対応します。

#### ③スローUSBモード

スローUSBモードのオン/オフを切り替え、PCがUSBの管理を自動で行うか、USB優先を強制するかを選択します。ONにするとスローUSBモードが有効になり、OFFはUSB優先を強制します。音声 normally 再生されるように調整してください。

#### ④ASIOバッファサイズ

ASIOソフトウェアのバッファサイズを選択します。通常、オーディオインターフェイスがバッファサイズを自動設定します。一致しない場合は、バッファを手動で調整してください。値を大きくすると録音/再生のレイテンシーが増え、値を小さくするとレイテンシーが減ります。

#### ⑤OK

パラメーターを選択したら、OKをクリックして設定を保存します。OKをクリックしない場合、設定は変更されません。

#### ⑥ファームウェアバージョン

オーディオインターフェイスの現在のファームウェアバージョンを表示します。

#### ⑦ドライバーバージョン

現在のソフトウェアドライバーバージョンを表示します。

#### ヒント

Driver V2.0をインストールすると、サンプルレートはソフトウェアのサンプルレートと自動的に同期します。

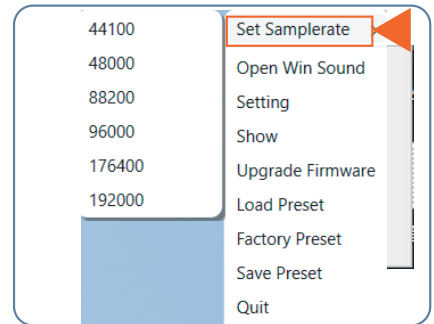
## サンプルレート (ミキサーバージョン)

デスクトップ右下のPLATANEアイコンを右クリックしてメニューを開きます。[サンプルレート設定]にカーソルを合わせると、使用可能なサンプルレートが表示されます。

必要に応じて、44,100 Hz~192,000 Hzの範囲でサンプルレートを選択してください。

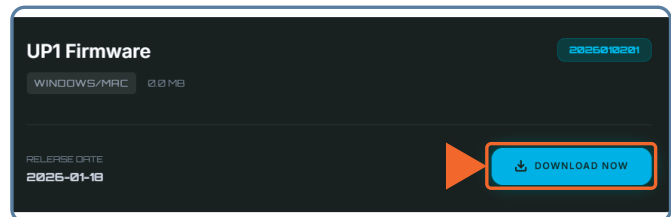
### ヒント

Driver V2.0をインストールすると、サンプルレートとバッファサイズはDAWと自動的に同期するため、通常は手動調整は不要です。

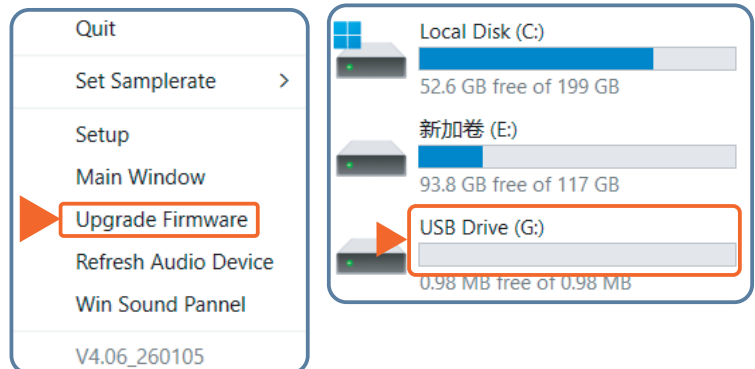


## ファームウェア更新 (ミキサーバージョン)

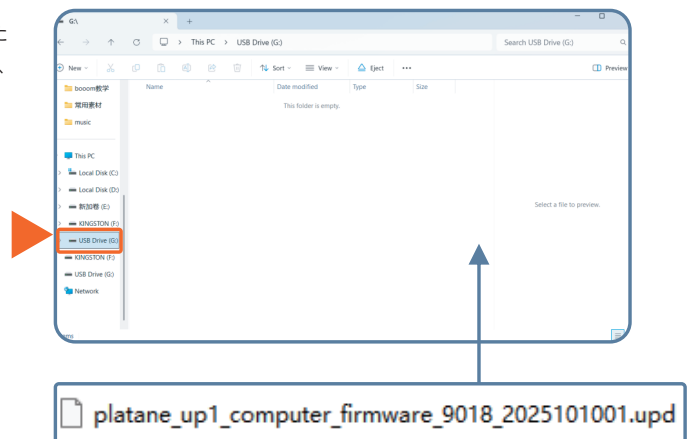
公式サイト:<https://www.platane.com.cn/#/downloads>から更新するファームウェア[UP1 firmware]をダウンロードします



デスクトップ右下の PLATANE アイコンを右クリックし、[Update Firmware]を選択します。本製品 (UP1) が更新モードに切り替わり、「PC」に本製品が新しいUSBドライブとして表示されます。ダブルクリックして開きます。

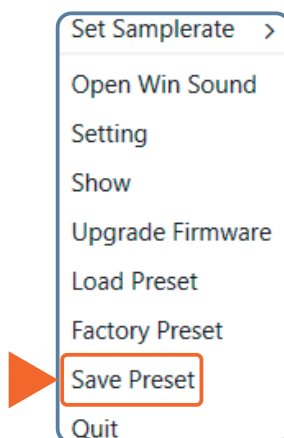


ファームウェア更新ファイルを、そのUSBドライブと認識されたフォルダにコピーするだけで更新が開始されます。更新後、オーディオインターフェイスは通常モードに戻ります。

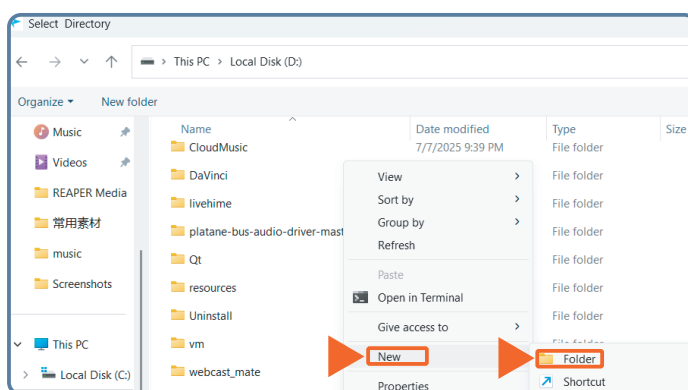


## プリセットを保存 (ミキサーバージョン)

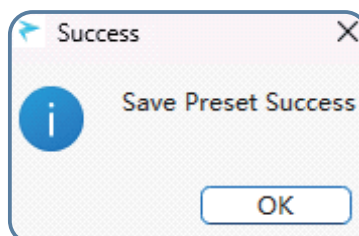
デスクトップ右下のPLATANEアイコンを右クリックし、メニューから[プリセットを保存]を選択します。



プリセットファイルを保存するため、保存先に新しいフォルダーを作成します。フォルダー内の空白部分を右クリックし、[新規作成]→[フォルダー]を選択してください。



作成した新しいフォルダー (例: [Preset Files]) を選択し、[フォルダーの選択] をクリックしてプリセットを保存します。

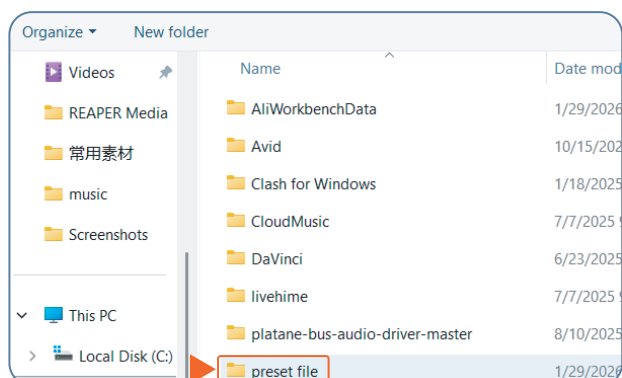
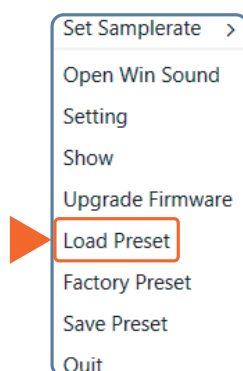


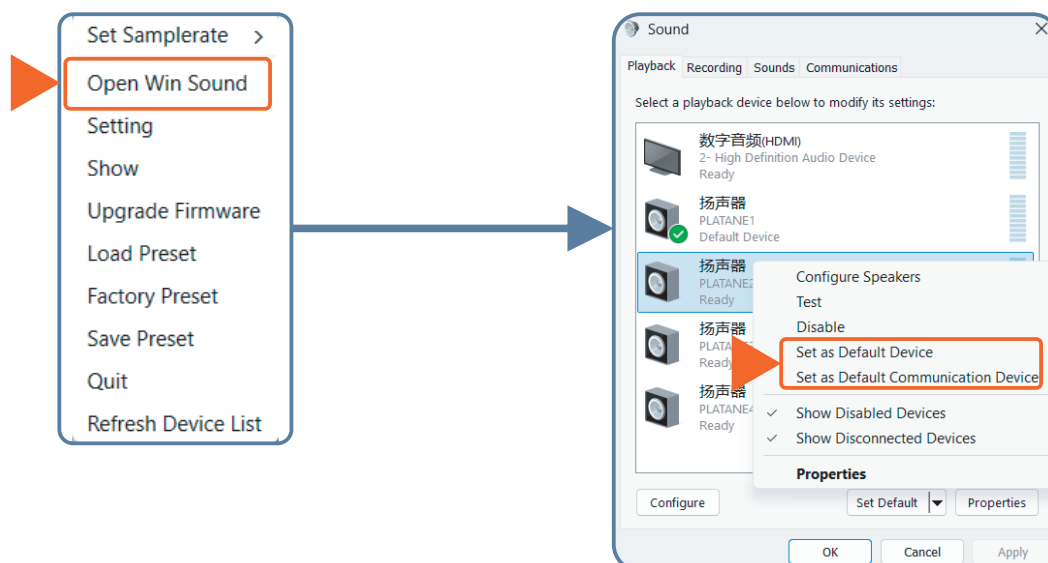
プリセットの保存を確認するダイアログが表示されます。[OK] をクリックしてください。プリセットフォルダーには、拡張子が.jsonのファイルが複数表示されます。これらがプリセットファイルです。

## プリセットの読み込み (ミキサーバージョン)

① デスクトップ右下のPLATANEアイコンを右クリックし、メニューから「プリセットを読み込み」を選択します。

② 以前保存したプリセットのフォルダーを選択し、「フォルダーの選択」をクリックします。オーディオインターフェイスが更新され、プリセットファイルが読み込まれます。





- ① デスクトップ右下のPLATANEアイコンを右クリックし、メニューから「Windowsのサウンドを開く」を選択します。
- ② [再生]タブで必要に応じてシステム出力チャンネルを選択し、既定のデバイスに設定するか、他のデバイスを無効にします。スピーカー (PLATANE )を既定のデバイスに設定することを推奨します。
- ③ [録音]タブで必要に応じてシステム入力チャンネルを選択し、既定のデバイスに設定するか、他のデバイスを無効にします。マイク (PLATANE )を既定のデバイスに設定することを推奨します。

ヒント

これらの設定は任意で、通常は初期設定のままです。  
問題ありません。

